

あなただけの、ノホトケスマイル に出会いませんか？

とよた歴史マイスター

成瀬 裕 さん



豊田市下山地区 筆者撮影

私は、五街道など旧街道を歩くのが好きで、この地方でも、中馬街道のひとつでもある飯田街道も歩きました。ひとりで歩く街道は、単調なところも多いのですが、森閑とした峠道にひっそりと佇む石仏の微笑みが、心を癒してくれたこともありました。

かつて三河・東濃・南信界隈は、その中馬街道による往来が盛んで、そこに歴史や文化が残りました。この豊田地区にも、その中馬街道の面影のひとつとして、馬頭観音を代表とする石仏たちが残されています。

本来馬頭観音は、忿怒相をもつと言われていています。しかしながら、この地方に見られる馬頭観音たちは、多くが合掌し、そしてかすかな微笑みを含んでいます。その表情からは、慈悲の心を感じさせます。

かつて、このあたりにもたくさんの馬が闊歩し、人々の生活を支え共に助け合って暮らしていたといえます。そんな家族同様の馬が亡くなると、馬頭観音を建てねんごろに供養したそうです。石仏にかすかな微笑み、慈悲の心が感じられるのも自然なことなのでしょう。

そんな馬頭観音の表情は非常に豊かで、ひとつひとつみんな違ってみんないい。しかしながら、石造物が故の宿命！風化等により、今まさに消え去ろうとしています。自然石にかえろうとしています。



豊田市旭地区 筆者撮影



浜松市天竜区 筆者撮影



豊田市足助地区 筆者撮影

今辛うじて残る、あなた好みのノホトケスマイル！に出会いませんか？

- ◆写真の無断複製、転用を禁じます。
- ◆このページに興味関心のある方は、豊田市郷土資料館へお問い合わせください。
豊田市郷土資料館 ☎0565-32-6561 E-mail rekihaku@city.toyota.aichi.jp